

まるごとだより 第12号

にぎわいある農村をみんなで守り育てよう



目次

☆「人・生きものにぎわう農村フォーラム“2009”」を開催

☆わたしたちも
がんばっています。パート1
「いいみちの郷を守る会」
(甲賀市)

☆彦根市の「まるごと」を紹介
します。

☆わたしたちも
がんばっています。パート2
「横山・水とみどりの会」
(高島市)

発行 (2010.1)

滋賀県世代をつなぐ農村
まるごと保全地域協議会

〒521-1224

東近江市林町601番地
水土里ネット滋賀内

電話 0748-42-4806

FAX 0748-42-5574

Email: kyougikai@shiga-

nouson-marugoto.com

「人・生きものにぎわう農村フォーラム“2009”」を開催

11月14日(土)、守山市民ホールにて、『人・生きものにぎわう農村フォーラム“2009”』を開催しました。約400名のご参加をいただき盛大に開催することができました。参加いただいた方へのアンケートでは、「非常に参考になった。今後地域で進めていく上での手本となり、自信が持てます。」といった感想や「せっかくの良いものなのに、盛りだくさんで時間も長く、消化不良で終わりもったいない。」というご指摘もいただきました。今後の取り組みの参考にしたいと思います。ありがとうございました。



【開会式】



【事例報告(知事賞; 白王町鳩の会)】



【事例報告(地域協議会会長賞
; 開発水土里保全推進会議)】



【事例報告(地域協議会会長賞
; 下中野菜の花会)】



【フォトコンテスト作品・活動事例紹介パネル展示】

「人・生きものにぎわう農村フォーラム“2009”」



【基調講演（中村靖彦氏）】

『人・生きものにぎわう農村フォーラム“2009”』～にぎわいある農村をみんなで守り育てよう～では、知事賞、協議会会長賞、協議会支部長賞、及び広報、にぎわい、農産物ブランド化、みずすましの各部門賞で、それぞれ大賞と優秀賞の優良地区表彰に加え、今年度新たに募集した「にぎわう農村フォトコンテスト」の入賞作品を表彰しました。

その後、知事賞を受賞された「白王町鳩の会」と地域協議会会長賞を受賞された「開発水土里保全推進会議」「下中野菜の花会」からそれぞれ事例報告をいただきました。

基調講演では農政ジャーナリストで元NHK解説委員の中村靖彦氏から『まるごと力を合わせて村作り』と題し、ご講演をいただき、みなさん真剣な表情で聞き入っておられました。みなさんの今後の取り組みの参考になれば幸いです。

お知らせ

★平成21年度地域協議会の主要事業計画の予定をお知らせします。

◎第4回 農村まるごと保全技術研修会

期日：2月6日(土)

場所：東近江市

あかね文化ホール

テーマ：濁水ゼロに挑戦し琵琶湖を守る取り組み

皆さんお誘い合わせの上、多数の方のご参加をお待ちしております。



フォトコンテスト入賞作品
岩田 太さん（高月町）

「体制整備構想作成の手引き」を作成しました。詳しくはHPをご覧ください。

★優良表彰地区で受賞された活動組織のみなさんです★

滋賀県知事賞・・・白王町鳩の会（近江八幡市）

地域協議会会長賞・・・開発水土里保全推進会議（守山市）

“・・・下中野菜の花会（東近江市）

地域協議会大津・南部支部長賞・・・志那中環境を守る会（草津市）

甲賀支部長賞・・・黄瀬豊かな水土里をまもる会（甲賀市）

東近江支部長賞・・・綾の里環境を守る会（竜王町）

湖東支部長賞・・・金屋の水と緑を守る会（甲良町）

湖北支部長賞・・・みどり豊かな清流の郷杉野（木之本町）

高島支部長賞・・・水の里 大沼（高島市）

広報部門 大賞・・・相撲庭町農地・水・環境を守る会（長浜市）

優秀賞・・・きれいな農村風景を守る西明寺の会（日野町）

にぎわい部門 大賞・・・悠紀の里吉田（豊郷町）

優秀賞・・・野田湧上の郷（近江八幡市）

農産物ブランド化部門大賞・・・針環境保全団体（湖南市）

優秀賞・・・魚のゆりかご水田協議会（東近江市）

みずすまし部門 大賞・・・小中之湖地域環境保全会（安土町）

優秀賞・・・ほたるの宿今宿保全隊（甲賀市）

★「にぎわう農村フォトコンテスト」で入選されたみなさんです★

グランプリ・・・瀧口喜三男氏（近江八幡市）

準グランプリ・・・高木清継氏（近江八幡市）

“・・・竹中誠二氏（米原市）

入 選 岩田太氏（高月町） 宇野九仁夫氏（大津市）

小泉智氏（愛荘町） 園田弘氏（栗東市） 竹村清氏（日野町）

中村治一氏（近江八幡市） 橋本博氏（野洲市） 三日月初雄氏（甲賀市）

村松正治氏（東近江市） 山口銀治氏（東近江市）

みなさんおめでとうございます。

グランプリ（1点）



「お年寄りとのふれあい」
瀧口 喜三男さん（近江八幡市）

準グランプリ（2点）



「つらい泥上げも楽しく」
高木 清継さん（近江八幡市）



「田んぼや水路には、たくさんの生きものがいるんだなあ！」
竹中 誠二さん（米原市）

※受賞地区の概要および、フォトコンテスト入賞作品、農村まるごと保全推進委員会の小林圭介委員長の選考講評を地域協議会のホームページに掲載しています。是非ご覧ください。

わたしたちもがんばっています！

パート1

いいみちの郷を守る会（甲賀市）

代表 福本 正治

三大寺地区は甲賀市の南西部、杣川の西側、信楽高原鉄道の線路の北側に位置する



高低差のある49haの農用地を有している水稻栽培を中心とした農村地域です。

当地域の高低差のある43haの農用地の特色を生かした村おこしの手段として、平成18年度から甲賀市と中山間地域直接支払交付金に係る集落協定を締結し、翌年の平成19年度からは世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策の1階部分・2階部分も含め先述の中山間地域直接支払交付金に係る集落協定事業と並行して取り組んでいます。

取り組みの骨子とその活動内容は次の通りです。

- ①農地・池・農道の保全と農用施設の保全（電気柵やネットの鳥獣害防止、泥浚え・道直し・草刈の区民の共同作業、災害時や老朽化への修復等の保全管理、）
- ②担い手育成と集落営農の推進（集落営

農における後継者の育成、集落営農組織「いいみちファーム」の農機具購入等の支援）

③住民との交流（全住民を対象とした夏祭り、収穫祭等のイベント、区民による共有林・美化運動の奉仕作業）

④水質保全と環境こだわり作物の作付促進（パトロールによる濁水流出防止の喚起と環境こだわり水稻11.3ha・大豆10.6haの作付け）

⑤豊かな田園の生き物を育む取り組み（河川の草刈、ごみ拾い、池・河川の魚つかみと魚の調査）

⑥心なごむ田園風景を守り育てる取り組み（子ども会の花いっぱい運動、水路畦畔の水仙植栽、女性部・子ども会の空き缶拾い）のさまざまな活動を始め、3年目となり、今後も区民一丸となって更なる活動の向上に努めていきます。



わたしたちもがんばっています！

パート2

横山・水とみどりの会（高島市）

代表 足立 吉次

高島市横山（武曽横山）地区は、琵琶湖の西部高島市の最南部に位置し、西方に比良山系を背に、風光明媚な田園地帯です。

水田は区画整備（1次構）も整った優良農用地で、比良山系を源に一級河川鴨川と八田川の清水で育ったお米は、昔から京都のすし米として名声を得ています。地区の全戸数は105戸、内農家戸数は38戸、水田面積95ha、耕作面積別では10ha以上3戸、4ha以上5戸で専業農家が多い地区です。



当地は、先人から今日まで目新しい事に先進的に取り組む気質のある地区です。例えば、水田区画整備、簡易水道、農村下水道等事業、活動面では、麦・大豆中心に集団転作への取り組み、施設

野菜の導入、近年では「環境こだわり米」の作付拡大（平成21年産で水稻作付面積の50%、32ha）を進めています。

「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」は、自治会、土地改良区や各農業団体、老人会、子供会はじめ地区住民の理解・協力を得ていち早く取り組みました。

横山地区での重点目標は、地区の状況・実情を充分考慮し計画策定しました。河川や琵琶湖の水質保全を図るために、濁水ゼロに取り組んでいます。当地の水田区画整備は完工（昭和41年3月）以来40数年経ているため、各施設の老朽化が著しく進行しています。そこで濁水流出防止のため用排水路の傾き・破損箇所の補強・補修を実施しています。また、水田からの濁水流出ゼロに向けて一筆排水柵の設置を自力施工で行っています。

景観形成・生態系生活環境保全の取り組みでも、ひまわりやコスモスの植栽、河川の草刈清掃作業は住民全員が参加し実施しています。

重点目標の達成には、資金と時間そして住民の理解・協力が不可欠です。このすばらしい農村環境・美田を後世に継承するため、対策事業を通じ意識を高めて行きたいと思っています。

重点目標の達成には、資金と時間そして住民の理解・協力が不可欠です。このすばらしい農村環境・美田を後世に継承するため、対策事業を通じ意識を高めて行きたいと思っています。



質問コーナー

（質問）

領収書をもらうと、レシートを返さなければならない場合が多く、明細が示せなくなりますが、どうすればよいですか？

（答え）

領収書か領収書を貼る台紙に、購入品の明細を記入してください。また、領収書でなくても、レシートに活動組織の名前を記入していただければ代用することができます。



フォトコンテスト入選作品
宇野 九仁夫さん（大津市）

（質問）

農村まるごと保全向上対策の活動において、自治会所有のコピー機械を使っていますが、この費用は交付金から使えますか？

（答え）

明細（枚数）を明記した自治会からの領収書を発行してもらえば問題ありません。もちろんコンビニでのコピーも領収書があれば結構です。



フォトコンテスト入選作品
小泉 智さん（愛荘町）

お知らせ

★活動に関する情報を、お手軽に、しかも迅速に受け取ったり、発信したりできる「インターネットによる情報発信」を行っています。メールアドレスを、本協議会までメール等でご連絡ください。

Mail

★活動組織の皆様からの生の声をお待ちしています。日頃の活動やこの情報誌に関する感想など何でも結構です。この情報誌や、協議会のホームページなどでご紹介させていただきます。

編集後記

★以前、この情報誌で活動を紹介させていただいた活動組織の方から、「写真の掲載が地域でも話題となり、年配の方から子どもたちまでコミュニケーションが図れました。」とのお礼のメールをいただきました。今後とも、皆さんに喜ばれ、少しでもお役に立てる誌面づくりを目指して参ります。

(A.W)

●書類作成にかかる参考資料や活動事例などの情報をホームページでお知らせしています。

<http://www.shiga-nouson-marugoto.com/index.html>

Email: kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

彦根市の「まるごと」を紹介します



まるごと対策を活用した彦根市のまちづくり

彦根市 農林水産課

彦根市は、琵琶湖の東岸に位置し、その湖面には、豊かな四季の移り変わりや長い歴史の歩みが映し出されてきました。

一方、東には緑豊かな鈴鹿山脈が連なり、ここに源を発する芹川、犬上川、宇曾川、愛知川等が、肥沃な穀倉地帯を形成しながら、琵琶湖に注ぎ、また、平地部には金亀山、荒神山、雨壺山、大堀山等、小高い山々が点在しています。

気候は瀬戸内式気候区の東端にあたる一方、冬期は北陸型の気候となり、強い北西の季節風による降雪もあります。しかし、琵琶湖の影響により、夏、冬の気温の変化は緩和され、穏やかな過ごしやすい地域といえます。

このように、自然の要素が織りなす落ち着いた風土と景観が彦根をかたちづくり、豊かな恵みとやすらぎを与えてくれるかけがえのない財産となっています。

本市における「まるごと対策」の取り組みは、共同活動に52集落47組織、対象面積は市内の農振農用地面積の8割にあたる約1,930ヘクタールにおいて、子供たちから高齢者まで、みんなが生き生きと暮らす農村の実現を目指し、様々な活動に取り組んでいます。

また、営農活動においても33集落31組織が取り組まれており、約710ヘクタールにおいて水稻をはじめとするこだわり農産物の作付けが実施され、より安全・安心な食への志向が高まり、作付面積の拡大に繋がっているものであります。



本対策も3年目を迎え、景観形成の一環としてひまわりの作付けによる地域の交流活動やグランドカバープランツによる雑草対策・魚のゆりかご水田・活動組織のNPO法人化など各活動組織とも特徴ある活動を実施される一方で、高齢化に伴う後継者不足等により年々農家数が減少し、耕作放棄地が増加しています。今年度は「体制整備構想（案）」の策定が必要となり、各活動組織単位で集



落の将来像を考えていただくことがこのような問題の解決に向けた一方策となることを期待するものです。



また、同時に本対策の要件に該当しない集落や取り組まれていない集落の農地の保全やこだわり農産物の作付け拡大等を今後の検討課題として取り組むことにより、様々な実情に対応した施策の実現が可能になるものと考えております。

平成23年度以降も、創意と工夫で実施される活動により、地域が活性化されるよう活動組織のみなさまと共に考えてまいりますのでよろしくお願いします。



特定非営利活動法人認定証